



# News Release

2021年5月27日  
NITE（ナイト）  
独立行政法人製品評価技術基盤機構  
製品安全センター（東京）

## 調理家電の事故を防ぎましょう ～関東甲信越における事故を中心に～

### 1. 関東甲信越地方の調理家電の事故

#### （1）年度別事故発生件数と被害状況

2016年から2020年の間にNITE（ナイト）が収集した製品事故情報<sup>※1</sup>において、関東甲信越地方の1都9県（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県）で発生した、調理家電の事故は181件ありました。調理家電の事故について、関東甲信越の都県別の年別事故発生件数を表1、被害状況別事故発生件数を表2、原因区分別事故発生件数を表3に示します。

※1 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

表1. 年別事故発生件数

		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	合計
事故発生年	2016年	1			5	6	16	9		1	1	39
	(内数)火災事故	(1)			(3)	(0)	(11)	(7)		(1)	(1)	(24)
	2017年		2		7	5	13	9	3			39
	(内数)火災事故		(1)		(5)	(3)	(11)	(6)	(2)			(28)
	2018年			1	3	3	16	4	1			28
	(内数)火災事故			(0)	(3)	(2)	(16)	(1)	(1)			(23)
	2019年	3	1	2	5	5	13	7	1	1		38
	(内数)火災事故	(2)	(1)	(2)	(4)	(1)	(12)	(5)	(1)	(0)		(28)
2020年	1	1	1	5	3	18	6		1	1	37	
(内数)火災事故	(1)	(1)	(1)	(5)	(2)	(15)	(5)		(1)	(1)	(32)	
合計	5	4	4	25	22	76	35	5	3	2	181	
(内数)火災事故	(4)	(3)	(3)	(20)	(8)	(65)	(24)	(4)	(2)	(2)	(135)	

安全とあなたの未来を支えます

表 2. 被害状況別事故発生件数

		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	合計	
被害状況	人的被害	死亡			1			1				2	
		(内数)火災事故			(1)			(1)				(2)	
		重傷			1	1	2	2					6
		(内数)火災事故			(0)	(0)	(0)	(0)					(0)
	軽傷			1	2	2	2					7	
	(内数)火災事故			(1)	(0)	(0)	(1)					(2)	
	物的被害	拡大被害	2	3	2	10	5	28	18	3	2	2	75
		(内数)火災事故	(2)	(3)	(2)	(9)	(3)	(27)	(16)	(3)	(2)	(2)	(69)
		製品破損	1	1	2	10	11	41	9	2			77
	(内数)火災事故	(1)	(0)	(1)	(9)	(4)	(36)	(6)	(1)			(58)	
被害なし	2			2	3	3	3			1		14	
(内数)火災事故	(1)			(0)	(1)	(2)	(0)			(0)		(4)	
合計		5	4	4	25	22	76	35	5	3	2	181	
(内数)火災事故		(4)	(3)	(3)	(20)	(8)	(65)	(24)	(4)	(2)	(2)	(135)	

表 3. 原因区分別事故発生件数

区分	事故原因区分説明	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	総計
製品に起因する事故	A 設計、製造又は表示等に問題があったもの			2	4	9	16	6	1			38
	(内数)火災事故			(2)	(3)	(2)	(10)	(3)	(0)			(20)
	B 製品および使い方に問題があったもの				2		8	2				12
	(内数)火災事故				(2)		(8)	(1)				(11)
	C 経年劣化によるもの						1	1	1			3
	(内数)火災事故						(1)	(1)	(1)			(3)
G3 製品起因であるが、その原因が不明のもの	1	1		4	3	9	6			1	25	
(内数)火災事故	(0)	(1)		(3)	(0)	(8)	(3)			(0)	(15)	
小計		1	1	2	10	12	34	15	2	1	0	78
(内数)火災事故		(0)	(1)	(2)	(8)	(2)	(27)	(8)	(1)	(0)	(0)	(49)
製品に起因しない事故	D 施工、修理又は輸送などに問題があったもの											0
	(内数)火災事故											(0)
	E 誤使用や不注意によるもの	1			6	5	12	6	2		2	34
	(内数)火災事故	(1)			(4)	(3)	(12)	(5)	(2)		(2)	(29)
F その他製品に起因しないもの				1		7	3			1		12
(内数)火災事故				(1)		(7)	(3)			(1)		(12)
小計		1	0	0	7	5	19	9	2	1	2	46
(内数)火災事故		(1)	(0)	(0)	(5)	(3)	(19)	(8)	(2)	(1)	(2)	(41)
その他	G 原因不明なもの	2	2	1	6	4	18	8	1			42
	(内数)火災事故	(2)	(1)	(0)	(5)	(2)	(15)	(6)	(1)			(32)
	H 調査中のもの	1	1	1	2	1	5	3		1		15
	(内数)火災事故	(1)	(1)	(1)	(2)	(1)	(4)	(2)		(1)		(13)
小計		3	3	2	8	5	23	11	1	1	0	57
(内数)火災事故		(3)	(2)	(1)	(7)	(3)	(19)	(8)	(1)	(1)	(0)	(45)
合計		5	4	4	25	22	76	35	5	3	2	181
(内数)火災事故		(4)	(3)	(3)	(20)	(8)	(65)	(24)	(4)	(2)	(2)	(135)

## (2) 関東甲信越地方において発生した事故の事例

## ① 電子レンジに使用できない容器を使用したことによる事故

・ 2019年6月、埼玉県、製品破損

(事故内容)

使用中の電子レンジから発煙する火災が発生した。

(事故原因)

使用者が庫内に紙皿を置き、その上に水の入ったペットボトルを置いて加熱したため、庫内で紙皿が炭化して異常発熱し、ペットボトルが溶融したものと推定される。

なお、取扱説明書にはレンジで使えない容器として、紙製品が記載されている。

## ② 電子レンジ庫内に付着した食品かすの発火事故

・ 2016年7月、神奈川県、製品破損

(事故内容)

使用中の電子レンジを焼損する火災が発生した。

(事故原因)

電子レンジの庫内に食品かすが付着した状態で空だき運転をしたため、食品かすにマイクロ波が集中して過熱し出火に至ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「庫内がカラのまま加熱しない。」、「庫内やドアに油、食品かす、煮汁などを付けたまま放置したり、加熱しない。」、「加熱した食品を取り出したあとは、タイマーつまみは「OFF」にする。」旨、記載されている。

## ③ 電気こんろによる事故

・ 2017年5月、新潟県、拡大被害

(事故内容)

電気こんろ付近から出火し、周辺を焼損した。

(事故原因)

電気こんろのスイッチを入れたまま外出したため、上に置いていた可燃物が焼損したものと推定される。

なお、本体及び取扱説明書には、「使用後や外出の際はスイッチが切になっていることを確かめる。上に可燃物を置かない。」旨、記載されている。

(本件に関する問い合わせ先)

〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-10

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 製品安全センター 事故調査課

担当者：松本（まつもと）、佐藤（さとう）、松岡（まつおか）

電話：03-3481-1820